

事業所名

あみりあ新小岩 児童発達支援

支援プログラム

作成日

2025 年 10 月 24 日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> 小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します。 どんな時も明るい笑顔と挨拶を欠かしません。 安心安全な環境作りに努めます。 			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身で身支度やご飯を食べられるようになるなど、身辺整理や身辺自立を主の目的として、日々の生活や活動を行っていく。 小集団で生活をしていく中で、お友達や職員、地域の人々と触れあう機会を提供し、日常生活の中で社会性やコミュニケーション能力を養っていく。 出来たことに関して褒めて成功体験を養うことで、自身の自己肯定感を向上させ、スマールステップで成長する様子を保護者様と共有していく。 			
営業時間	10 時 30 分から 16 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<p>生活：自分自身で朝の身支度やご飯を食べられるようになる、トイレを行う等、未就学児のうちから身辺整理や身辺自立を行うことで、就学を見据えて小集団の中で生活をしていく。 食育：普段食べられないものも扱う事で、食べられるものを増やしていく。 食べる事が出来たものや、調理のお手伝い方法などを日々の送迎で保護者様へお伝えし、ご家庭でも出来るようにレシピの共有なども行っていく。</p>		
	運動・感覚	<p>運動：公園や体育館などで活動し、身体を動かすことにより、体力づくりや体幹トレーニングを行っていく。 食育：実際に食材に触れ、調理法や工程を学ぶ過程で、食材や道具に触れる機会を養っていく。</p>		
	認知・行動	<p>見通し：朝の会で1日の予定を確認し、見通しを持ってその日の行動ができるようにしていく。 認知・運動：公園の遊具で遊ぶことでルールや順番を守ることや、バランス感覚・位置感覚といった空間認識能力を高めていく。</p>		
	言語 コミュニケーション	<p>表現：手や言葉を使って「やって」など自分の気持ちを伝えられるよう、個に沿ったサポートを行っていく。 言語：「かして」など他児とのやり取りを行う事で、コミュニケーションや協調性を養っていく。 コミュニケーション：職員だけでなく、地域の方など様々な人と交流していくことで、社会的スキルを身につけていく。</p>		
	人間関係 社会性	<p>遊び：ルール性のある遊びや玩具遊びを通して、順番を待つことや、自分の気持ちや考えを伝える力などを培い、人との繋がりを養っていく。 社会：遊びや日々の関わりを通して、お友達や大人との関係づくりを楽しみながら、人と接する力を身につけていく。 外出：公共交通機関を利用した外出や公共施設への外出を行い、普段関わりのない方々と触れ合う事で、社会性の基礎を育んでいく。</p>		
家族支援		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 就学に向け、お子さまの特性や、施設での様子、関わり方などを就学先と共有し、連携を図っていく。 必要に応じて施設を訪問し、行事やイレギュラーなことが起った際の関わり方などを具体的に共有していく。 	
地域支援・地域連携		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修への参加、社内研修の開催を定期的に開催し、職員ひとりひとりの障害への知識を深めていく。 毎日、自分が行った支援についての振り返り、虐待防止に繋げる。 事故報告やヒヤリハットの作成を通して、再発防止に努める。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 保護者会の開催：年1回実施 季節に合わせたイベントや活動を月間プログラムに盛り込み、季節感を知るキッカケをつくっていく。（花見、水遊び、ハロウィン、クリスマス等） 公共交通機関を利用した外出レクや、遠くの施設へのおでかけなどをして、非日常的な体験を取り入れていく。 公共施設への外出を通して、様々なことを楽しみながら学んでいく。 		